

地区の概要

- 事業名: 農業競争力強化農地整備事業
- 地区名: 稲屋敷・袋地区
- 受益面積: A=144.9ha
- 総事業費: 2,591百万円
- 工期: H30~R6
- 農家戸数: 155戸
- 関係市町村: 栗原市
- 土地改良区: 迫川上流土地改良区
- 導入作物予定: 水稻、WCS等
- 地区の特徴・PRポイント

→当事業を契機に大区画ほ場を活用し、土地利用型作物(飼料用米・大豆・牧草)の作付け拡大を図るほか、工事の3次元出来型成果データの提供を行い、スマート農業の取組の後押しをする。

県内位置図

- 位置 くりはらしくりにま うぐいすざわ
宮城県栗原市栗駒・鶯沢 (過疎、特農)



実践担い手の概要

- 法人の名称
株式会社 吉尾ファーム
- 構成員
社員3名、その他パート職員
- 経営面積(R5予定)

地区内	A= 8.6ha
地区外	A=41.4ha
全体	A=50 ha
- (作物別)

水稻	A=30ha 内、もち米7ha、うるち米23ha
WCS	A=20ha
(その他)	たまねぎ 5ha予定

取り組み内容

【スマート農業の取組内容】

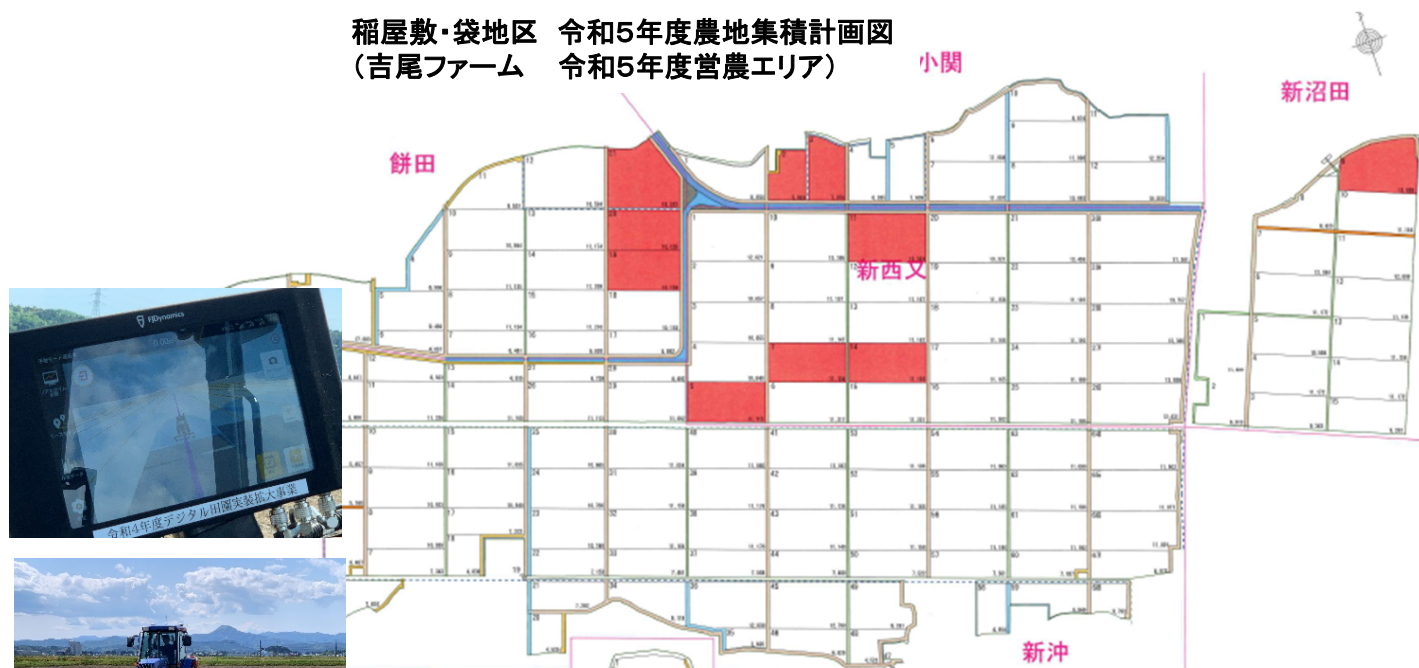
- 導入機械
GPS田植え機2台、ドローン1台、RTK自動操舵トラクタ1台
- 作業内容
水稻耕起・代掻き、農薬散布・追肥

【実践者の声】(吉尾 寛代表取締役)

- ・ 乾田直播の防除作業時の自動操舵トラクタは非常に有効的であり、作業の効率化を図れたと実感。
- ・ 常に新しいことに挑戦する気持ちでいます。乾田直播による省力化栽培を実践しているほか、今後はスマート農業にも工事の3次元データを有効活用していきたい。

地区位置図・実践エリア

稲屋敷・袋地区 令和5年度農地集積計画図
(吉尾ファーム 令和5年度営農エリア)



RTK自動操舵トラクタ(R5.5.12撮影)

RTK自動操舵トラクタを使用した乾田直播の防除作業(下段写真)。走行間隔を指定した走行ラインが表示されるので、ブームのラップを防ぐことができる(上段写真)。栗原合庁のRTK基地局を使用。

— : 農地整備事業地区境

■ : スマート農業実践エリア